

令和4年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」
アソシエイト校における取組について

1. アソシエイト校について

類型名	プロフェッショナル型
学校名	新潟県立高田商業高等学校
管理機関名	新潟県教育委員会

2. 令和4年度における取組について、該当する欄に○を記入してください。

	参画した	参画していない
2023/3/17 開催 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」 成果検証報告会（視聴のみ参画も可）	○	
2023/1/17 開催 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」全国サミット （視聴のみ参画も可）	○	
【プロフェッショナル型のみ回答】 2022/10/15、16 開催 全国産業教育フェア青森大会		○

3. 問2以外で実施した地域との協働による学習活動等の取組について、以下の回答欄に記入してください。また、記載いただいた内容について、参考となる資料があれば提出してください。（様式任意）

(1) 模擬株式会社「Rikka」による販売活動

本校では、「商業クラブ」という地域経済が活性化するためにはどのようにしていけたらよいかを生徒が調査、研究、提言する組織がある。

平成17年度より、上越市の本町商店街及び上越市商工会議所とタイアップし、「空き店舗」を活用し、高校生による「チャレンジショップ」の経営が開始した。

取り組みの概要

- ①店舗経営（計画の立案、交渉、仕入、販売、会計処理）
- ②校種間連携（小学校から大学までの教育機関の縦つながり）
- ③関係機関への実施内容の報告

模擬株式会社「R i k k a」という事業活動実施にあたり、上越市商工会議所、上越市本町商店街、上越市役所、上越教育大学と連携した販売活動、チャレンジショップ「R i k k a」を8月上旬に上越市高田駅付近の

施設を借用し実施している。

(2) 学校連携（支援）プロジェクトによる大学との交流

上越教育大学による「学校連携（支援）プロジェクト」事業により、本校における教育課題に対する連携と支援を受けており、国語科目を中心として大学院生や大学生とのリモートによる交流や情報交換を行った。また、ICT活用に関するアドバイスを受けた。

(3) 上越市役所による支援

3学年「広告と販売促進」において、上越市役所企画政策課などの支援を受け、「上越地域の現状と課題を踏まえた未来への提言」として調査、研究、探究活動を実施した。上越市の課題や魅力を学びつつ、これからのあるべき姿を探究する機会となった。

(4) 上越市商工会議所、商店街との連携

上越市商工会議所が実施している「出前授業」を通じて、働くことの意義や地域企業の取り組みなどを学ぶ機会となっている。地元である上越地域に就職する生徒が多いため、地域の企業や現状を学ぶよい機会となっている。

3学年の「広告と販売促進」において、地域の企業や商店のCM作成実習を行った。CM作成実習の企業調べから始まり、作成依頼、取材、編集を行い、完成後のCM報告会を実施した。限られたCM時間にどのようなメッセージを伝えるのか、企業や商品情報の収集とそれをまとめ上げ、表現するための技術の難しさを学ぶ機会となった。

(5) 研究指定校事業を通じた連携

①新潟県教育委員会「人権教育研究指定校事業」

(令和2～3年度)

人権にかかわる有識者（上越市、上越教育大学、部落解放同盟新潟県連合会上越支部、上越教育事務所）からの助言を受け、人権教育、同和教育の教育活動を実施した。

また、教員研修の場として上越市歴史博物館、白山会館での講話や見学を実施した。

②新潟県教育委員会「小中高キャリア教育パイロット事業」

(令和3年度)

校種を超え継続したキャリア教育を実践するため、小・中学校が高校とともに地域の特色を生かした教育活動に取り組んだ。

連携校：上越市立高土小学校、上越市立雄志中学校

(6) その他の取り組み

・ 保育園との連携

家庭科「保育」の授業を通じて、上越市立城西保育園の園児との交流を行っている。コロナ禍での対応として、直接の交流が難しい時期にはリモートによる交流を実施した。

・ 外部団体との連携

中小企業庁起業家教育事業「起業家出前授業」

新潟県上越市出身のアプリケーション開発企業（株式会社フラー）の副社長の講演を実施した。（令和2年11月）

4. 管理機関担当者

担当課	教育庁高等学校教育課	TEL	025-280-5614
氏名	齋藤 達也	FAX	025-285-7998
職名	指導主事	E-mail	ngt500050@pref.niigata.lg.jp